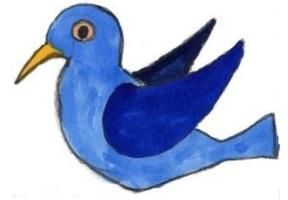


花だより 鳥だより

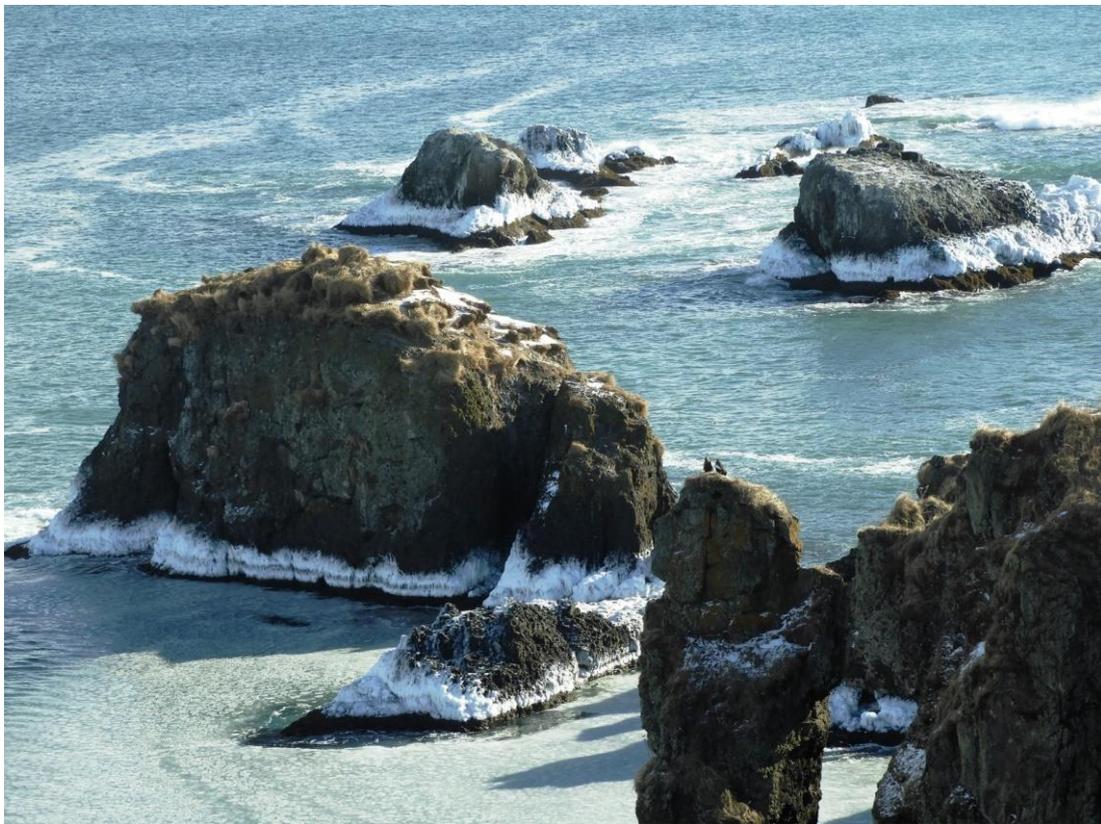


ポロト案内舎 2021年 1月 109号

冬らしい天気の日が続いています。気温は最低で-15℃前後、最高でもプラスに届きません。雪も多く降りました。ポロト沼や湿原、森が深い雪に包まれています。一年でいちばん寒い時期、ポロトは静寂に包まれています。



厳冬の岬



霧多布岬は蓮の葉氷が海面に縞模様をつくっています。小島の根元には、凍った波しぶきが白い線を描いています。ヒメウの姿は見えません。今年も飛来数が少ないようです。蠟燭のように伸びた岩の上に、オオワシのカップルがとまっています。辺りを見回し、食べ物になる生き物や生き物だったものはないかと探しているようです。まだまだ厳し寒さは続きます。



雪の上に残されたもの



雪が降った後、案内舎の玄関前です。駐車場や道路がどこにあるのかわかりません。これから雪かきかと思うと、ちょっとうんざりしますが、雪の上に残された動物の足跡が元気を与えてくれます。ポロが走った後に混じって、ユキウサギが玄関前までやってきた跡がくっきりと残っています。



ユキウサギは夜行性。しかも冬は真っ白な冬毛に包まれているため、見つけることがとても難しい動物です。近年は数が減ったようで、足跡さえ見る機会がありませんでした。しかし、今年は案内舎の周りで足跡をよく見かけます。雪に残された規則正しい歩調を見ると、リラックスして歩いていることがわかります。ユキウサギのお目当ては、建物の周りに残っていたナギナタコウジュの種でした。ナギナタコウジュはベニヒワの大

好物でもあるので、夏の間刈り取らずに残しておいたものです。ユキウサギもこれを食べているとは意外でした。足跡だけでなく、その姿を目にしたいものです。



さらに、ポロ沼の上には、イイズナの足跡も残されていました。イイズナはイタチの仲間で、世界最小の肉食哺乳類ともいわれています。雪上には左右の足がきちんと並んで点々と残されていました。足をそろえ、飛び跳ねながら進んでいきます。こちら雪の季節には、白い冬毛に包まれているため、見つけるのが難しい動物です。



春の準備



寒さの厳しい時期ですが、春に向けて着々と準備を進めている植物がいます。ハンノキです。案内舎の庭やその周囲にたくさんのハンノキが自生しています。そして今、枝という枝にはたくさんの花芽をつけています。写真の細長い棒状のものが雄花になります。寒さから大切な花粉を守るため、うろこ状の殻に包まれ、花芽は固く閉じています。暖かい春が訪れた時には、一斉に殻を開いて、花粉を風に飛ばせます。木々の葉が開く前の林の中を、花粉は自由に飛び交い、運よく雌花に到着したものが、種をつけ、子孫を残していきます。花びらを持たない花を咲かせる者たちは、昆虫の助けを借りずに受粉を行うのです。運を風に任せたこの受粉法は、昆虫に運び屋を頼むような確実性はありません。昆虫を集める豪華な花びらや報酬の甘い蜜をつくる必要もない代わりに、数で勝負の世界なのです。

スギやヒノキもハンノキと同じ戦略なので、そろそろ花粉症に悩まされる人も多いかと思います。道東ではスギやヒノキが育たないので、本州にいたころに花粉症だった私は、その悩みから解放されました。しかし、長らく暮らしていると、他の花粉のアレルギーにかかる場合があります。幸い、私はハンノキやシラカバの花粉では反応しません。その代わりに、夏の終わりに庭にはびこるエゾヨモギの花粉でくしゃみや鼻水、目のかゆみが誘発されます。そうなる前、ヨモギの花が咲く前に、草刈りに専念することになっています。

頭上でハンノキが春の繁殖の準備を進めている頃、雪の中ではフキやミズバショウが芽をつけて、人知れず春を待ちわびています。

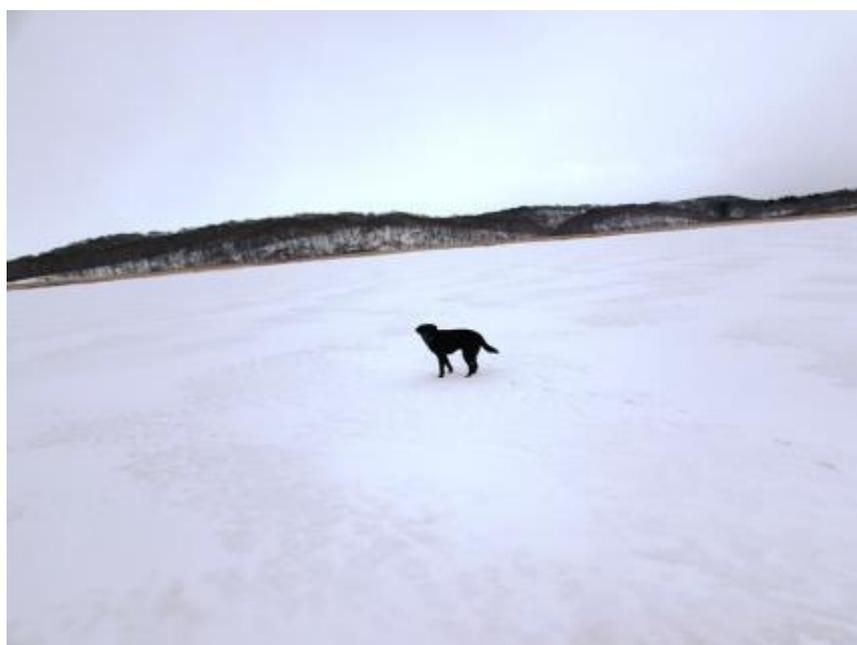


ポロトの雪原



水と陸との境があいまいになるこの季節、ポロト沼は一時の静寂に包まれます。たまに見かけるのは、食べ物を探すオオワシやオジロワシ、その取り巻きのカラスたち。そして、水面が開いてないかと偵察にやって来るカワアイサやマガモたち。今年はまだ、コミミズクやケアシノスリの姿を見かけていません。来る年とこない年があるので、今年は後者の可能性が高そうです。

鳥の姿の少ない冬のポロト沼では、心おきなく雪遊びができます。天気の良い午後には、ポロトを連れて沼を歩き回っています。浅いポロト沼は、底まで凍っているので、氷が割れて落ちる心配がありません。



1歳になったポロトは、元気いっぱい。スキーを履いた私とハーネスをつけたポロトを専用のベルトでつないで、スキーを引っ張らせながら、ときにはこちららがポロトを引っ張りながら、雪遊びを楽しんでいます。シカやキツネの足跡を追いかけて、シカの骨を見つけたりと、ポロトはたびたび急な方向転換をして難儀をしますが、楽しんでいるみたいです。